

派遣報告書

平成27年 5月18日

倉吉市議会

議長 由田 隆 様

倉吉市議会

(代表) 議員 朝日 等 治



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成27年5月10日(日)から平成27年5月12日(火)まで
- 2 派遣先 (1) 佐賀県佐賀市西与賀郡大字高太郎2667 佐賀市下水浄化センター
(2) 佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2369 佐賀市清掃工場
(3) 佐賀県三養期郡基山町大字園部2094 特定非営利活動法人かいろう基山
- 3 視察(調査) 議員名 佐々木敬敏 佐藤博英 朝日等治
- 4 面会者 佐賀市上下水道局環境政策調整監 前田純二氏 同下水浄化センター所長 馬場慶次氏 同下水エネルギー推進係 西山 功氏 株式会社S&K所長 川口公二氏 佐賀市環境部バイオマス産業都市推進課長 本山剛弘氏 同創エネ戦略室環境計量士博士 前田修二氏
特定非営利活動法人かいろう基山事務担当理事 松原幸孝氏 九州大学名誉教授 金政修司氏
- 5 派遣目的 本市におけるバイオマス事業及び竹林対策並びに竹パウダー利活用の可能性について
- 6 視察の経過及び感想
別添復命書のとおり
- 7 添付書類
(1) 別添復命書に添付のとおり
(2)

要した経費：3人合計

196570 円

復 命 書

平成27年 5月18日(月)

倉吉市議会

議長 由田 隆 様

倉吉市議会

議員 朝日等 治

去る平成27年5月10日日曜日から同月12日火曜日までの3日間、つぎの通り視察及び調査を行いましたので、関係書類を添付し復命いたします。

記

1. テーマ

「本市におけるバイオマス事業及び竹林対策並びに竹パウダー利活用の可能性について」

2. 期 間

自：平成27年5月10日(日) 至：平成27年5月12日(火) 3日間

3. 視察先

- (1) 佐賀県佐賀市西与賀郡大字高太郎2667 佐賀市下水浄化センター
- (2) 佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2369 佐賀市清掃工場
- (3) 佐賀県三養期郡基山町大字園部2094 特定非営利活動法人かいろう基山

4. 視察者

議員 佐々木敬敏・議員 佐藤博英・議員 朝日等治

5. 分 野

地方創生・地域振興・産業振興・環境保全・知的観光・健康維持

6. 内 容

……………【第1日目 5月10日(日) 15:00～17:00】……………

●佐賀県佐賀市駅前中央1-14-38 コンフォートホテル佐賀

●平成27年第4回倉吉市議会臨時会提出議案についての勉強会

翌日9時30分からの視察に控えて前日に佐賀市入りしたため、来る13日開会の平成27年第4回倉吉市議会臨時会提出議案について勉強会を開催し、論点とするポイントを押さえた。

また、本市が構築した「倉吉版地方創生」中、本市における環境に配慮したバイオマス事業の展開及び竹林対策、竹の活用から期待される効果等について整理し、翌日からの視察に備えた。

……………【第2日目 5月11日(月) 9:30～14:30】……………

●佐賀県佐賀市西与賀郡大字高太郎2667 佐賀市下水浄化センター

●『佐賀市バイオマス産業都市構想中、水処理分野について』

○説明者…佐賀市上下水道局環境政策調整監 前田純二氏・同下水浄化センター所長 馬

場慶次氏・同下水エネルギー推進係 西山 功氏・株式会社S & K所長 川口公二氏

●佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2369 佐賀市清掃工場

●『佐賀市バイオマス産業都市構想中、ごみ処理分野及び構想の総括について』

○説明者…佐賀市環境部バイオマス産業都市推進課長 本山剛弘氏・同創エネ戦略室環境計量士博士 前田修二氏・佐賀市上下水道局環境政策調整監 前田純二氏・同下水エネルギー推進係 西山 功氏

人口約23万人の佐賀県佐賀市は、同市ならではの地域力、人間力、行政力をフルに発揮して行こうとする地方自治体の一つである。その象徴ともいえる一つの事業が、バイオマス資源を未来型へと進化させ、新たな産業振興に活かし、まち全体の活性化を図ることを目的とした「佐賀市バイオマス産業都市構想」である。

この構想は、～あたりまえの暮らしが地域の力になる～バイオマス産業都市さがを標記に、家、食、ごみ、排水からなる暮らし分野、発電、処理水、肥料からなる水処理分野、余熱、CO₂、発電からなるごみ処理分野から構成され、更には農業、林業、漁業とリンクさせるほか、高付加価値農業、地産地消電力の実現に加え、藻類の培養からバイオジェット燃料を開発するなど、その研究も進めている。

当日の午前は、佐賀市下水浄化センターを訪れ、9時30分から12時まで同市のバイオマス産業都市構想における水処理分野について視察を行い、処理水の漁業への活用、地元の食品産業会社との連携のほか、竹チップや林業副産物を活用した肥料生産と地域貢献、日本の自治体として電力自給率100%を初めて実現したメタンガスによる発電についての説明を受け、汚泥堆肥化施設及びガス発電施設においては、現物に触りながら理解を深めた。

午後は佐賀市清掃工場へと移動し、13時から14時30分まで、構想におけるごみ処理分野及び暮らし分野について、余熱発電やCO₂ガスの農業への利活用、生じる発電の市内51の小中学校への利活用と売電等の説明を聞き、各施設の視察を合わせ研修を深めた。

本市においては下水及びごみ処理ともに鳥取中部ふるさと広域連合に委託しているため、佐賀市と同様に自治体独自での取り組みは困難といえるが、1市4町が連携したバイオマス資源の利活用は、本市における地域振興や産業振興、環境保全に大きく寄与すると考えられ、その考察と具体的な戦略の策定が急務である。

これは、地域内で排出される廃棄物を資源と捉え、地域内で処理し多様なエネルギーとすることで、自治体が地域貢献に寄与することにつながり、その中には竹を大量に利活用することが含まれることを認識することが大事である。

……………【第3日目 5月12日(火) 9:30～11:30】……………

●佐賀県三養期郡基山町大字園部2094 特定非営利活動法人かいろう基山

●『植物性乳酸菌を活用する健康維持について』

○説明者…特定非営利活動法人かいろう基山事務担当理事松原幸孝氏・九州大学名誉教授 金政修司氏・その他、特定非営利活動法人かいろう基山スタッフの皆さん

平成16年設立の特定非営利活動法人(以下、NPO)かいろう基山は、環境保全、

子どもの健全育成、経済の活性化、まちづくりの推進を目的に活動する法人であり、特に竹の資源化は全国的にも有名である。当日は事務担当の松原幸孝氏（春日市紅葉ヶ丘西2-46）宅にて研修する予定を同法人の事務所及び現場へと変更し視察した。

視察の目的である、竹パウダーを活用した植物性乳酸菌を活用する健康維持について、同NPOの概要や特徴の紹介を受けた後、専門的見地から金政修司九州大学名誉教授の講義を受け、実地に赴き竹林と伐採の現場、竹パウダーの生産過程と成果品を目の当たりにし、大きな感銘を受けた。

事務所では、竹パウダーを活用したヨーグルト等も食し、その効果を実感した。

本市においても、広葉・針葉樹林や住宅地への竹の繁茂は顕著でありその対策が急がれるが、従来竹チップから更に進化した竹パウダーの食品への活用は、その対策の一手であり確信と考えられ、具体的な事業化が急務である。